

おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（令和元年度分）

令和2年5月
第7回会議
資料1-6

低い  高い
評価点・・・ 1 2 3 4 5

【機能の達成状況】

名称		評価点	評価の理由
拠点機能		4	拠点事業として、どの事業もUMECOの機能を生かし活動できた。アンケートの結果UMECO企画展で出品したい団体さんが増加しているので調整しているところである。今年度は団体数32の団体の活動紹介ができた。
相談・支援機能		5	相談件数が増加。UMECO市民活動応援補助金に関する相談は7件、一般相談業務は20件以上も増加した。今後につなげたい。
協働支援機能		4	地域の課題解決の為に市民活動団体の特性を生かし支援した。企業との協働事業では各回毎に出演団体以外2団体以上が協力し参加。拡大しつつある。他の協働事業は効果あるものは積極的に参加し実績を上げた。
学習・体験機能		4	ボランティア機会の提供はそれぞれの事業で取り組んだが、今年度は特にボランティア出張講座に力を入れ近隣の（大・高・中）学校に行きボランティア活動の意義を伝えた。結果かなり多くの学生が関心を持ち参加した。
交流・コーディネート機能		3	交流機能の事業はそれぞれの目的に合わせかなり交流がうまくできた。わくわく交流会では地域課題を意識しながら実施したが参加者の意識が高く満足に至らなかった。次年度フォローアップ事業を行う。
情報の集約・発信機能		4	フェイスブック・ホームページ・UMECOだよりはそれぞれの機能をフル活用した。団体や市民からも反応を頂いた。
その他	男女共同参画	3	男女共同参画に関する理解を深める講座として効果があったかは不明。花柳琴臣氏の踊りは芸術としてみるのは良いが見た方がどう捉えたかが疑問。男女共同参画課との共同事業。
	国際交流	3	企画展に於いて「地球市民フェスタポスター展」をハワイエに展示。又国際交流コーナーでは毎回新しい情報を展示している。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由
誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけ の場	4	どの事業も活動を通しつながりを重視していることで事業ごとに目的を達成するようきっかけ作りをしている。企業とのネットワークでは回を重ねるごとに信頼とつながりが深くなった。又ティーサロンは学生の知恵を出し市民とのつながりができた。UMECO祭りでは多くの方の笑顔と喜びがごく自然の中から生まれた
シェアしながら それぞれの思いが繋がる 行動の場	4	「声の万華鏡」では朗読をキーワードに高校生とのつながりを深め3つの高校が参加。参加者も市外からの参加を得て多種多様なつながりが出来た。出張講座では多くの学校に交渉を試み講座を実施することが出来た。
地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる 実現の場	4	地域活動団体ネットワーク形成事業では地域課題解決のために地域のまちづくり委員会や自治会長会議に参加し市民活動の内容を説明し理解を深めた。企業・NPO・学生とのパートナーシップでは多くの市民活動団体と企業とのつながりが出来た。

【その他】

評価項目	評価点	評価の理由（評価点を2又は4とした場合で特別な理由があるとき、1又は5とした場合に記載）
センターの使用許可	5	事業計画書以上の人員を配置し、迅速な使用許可、付帯設備貸出等を行った。 【管理要員の基本ローテーション】 午前6人、午後8人、夜間3人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用抑制に努め、還付業務等を行った。
・会議室の許可等	5	
・市民活動プラザの許可等	5	
センターの維持管理	4	スライディングウォールの修繕を行い、スムーズに開閉できるようにするなど、建物所有者の小田原市事業協会担当者 と連携し、建設設備の保守管理等、適切な管理に努めた。
・印刷機の維持管理	3	
・清掃業務	4	
・建築設備の保守管理	4	
・備品等保守管理	3	
・防火管理業務	4	
事業計画・報告等に関する業務	3	小田原市地域政策課と協議し、報告書等の簡素化に努めた。
・事業計画書及び収支予算書等の作成提出	3	
・事業報告書の作成及び提出	3	
事業評価に関する業務	3	利用者アンケートを実施し、可能な範囲で意見を反映した。 市地域政策課と毎月1回の定例会議を実施した。
・履行状況の報告	3	
・利用者の意見、要望の収集	3	
・利用者会議の実施	3	
・市との定例会議の開催	4	
施設利用者の安全管理及び危機管理	3	10月12日の台風19号の際には、安全確保のため一部を除き利用を控え、午後3時で閉館する措置を取った。
市主催事業等への協力	4	公用車駐車場料金を免除（令和元年度340,450円相当）した。特別先行予約を受付けた。